

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

外来生物にご注意！

外来生物とは、例えばカミツキガメのように、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことを指します。外来生物の中には、外来生物法で規制の対象となっているものがあります。外来生物の詳細は、環境省の外来生物のページ（<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>）からご覧いただけます。

●特定外来生物・・・外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもののことです。特定外来生物は飼育、栽培、保管及び運搬することが原則禁止されています。特定外来生物の主な写真を以下に掲載します。オオキンケイギク、アライグマについては、市のホームページでも注意喚起を行っています。



【オオキンケイギク】



【アライグマ】



【カミツキガメ】

●要注意外来生物・・・外来生物法の規制対象となる特定外来生物とは異なり、外来生物法に基づく飼養等の規制が課されるものではありませんが、これらの外来生物が生態系に悪影響を及ぼしうることから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取扱いについて理解と協力をお願いするものです。要注意外来生物の主な写真を以下に掲載します。はんのう市民環境会議自然環境部会では、多様な生物の生息拠点を復活させるため活動の一つとして、今年度の夏に天覧山に生えている要注意外来生物であるセイタカアワダチソウの駆除を行いました。



【セイタカアワダチソウ】

【アメリカザリガニ・
環境省HPより】【ミシシッピアカミミガメ
(別名：ミドリガメ)】

ゴーヤを使ったレシピ第1弾！



はんのう市民環境会議では、夏をエコで快適に過ごすため、緑のカーテン事業を進めており、各ご家庭で作られた緑のカーテンからできたゴーヤを美味しく食べるためのレシピを募集しました。今回はいただいたレシピの1つである、ゴーヤのリングハンバーグのレシピを紹介します。ぜひご家庭でお試しください。次回の会報で第2弾のレシピを掲載予定です。

材料：ゴーヤ1本、玉ねぎ半分、豚挽肉150g、パン粉大さじ3杯、水大さじ2杯、卵1個、酒大さじ半分、塩小さじ4分の1、こしょう少々、小麦粉少々、サラダ油適量、ソース適量



作り方

- ①ゴーヤを8mm～1cmの輪切りにして、種とわたを取り、塩を少々振ってしばらく置き、水分を拭き取ります。
- ②玉ねぎはみじん切りにして油で炒めておきます。
- ③パン粉は水を入れて、湿らせておきます。
- ④ボールに挽肉を入れ、粘りが出るまでよくこねて玉ねぎ、卵、パン粉、塩、こしょう、酒を加え、よく混ぜ合わせてハンバーグの種を作ります。
- ⑤リング状になったゴーヤの中に小麦粉少量を振り入れて④の種を詰め、フライパンに油をしき、片面に焼色が少し付いたら、水を大さじ2杯入れて蓋をして蒸し焼きにします。
- ⑥お好みのソースをかけて、お召し上がりください。

【ゴーヤのリングハンバーグ調理中】

11月～2月の活動報告

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

■11月23日（日） 第9回里山復活祭「谷津田の秋を楽しもう！」
田んぼづくりや腐葉土の運搬、枯草の集積場づくり等を行いました。作業後は、「飯能吹奏楽研究会ディキシーバンド」の演奏を聴きながら、谷津田で収穫したご飯ときのこ汁を味わいました。参加者は70名でした。



■12月17日（水） プロジェクト会議

来年の谷津田の作業方針等について話し合いました。

■1月18日（日） 溝堀・畦道の補修

谷津田の川の溝堀や、田んぼの畦道の補修を行いました。参加者は13名でした。



■2月22日（日） ヨシ・カヤ刈り

谷津田のヨシとカヤを刈りました。参加者は18名でした。



《地球環境部会》

■11月26日（水） 再生可能エネルギープロジェクト

第8回目の小規模太陽光体験報告を行いました。

■12月5日（金） 再生可能エネルギープロジェクト

ドラム缶炭焼実習を行いました。

■12月11日（木） 再生可能エネルギープロジェクト

ドラム缶炭焼実習報告及び第9回目の
小規模太陽光体験報告を行いました。

■12月18日（木） 再生可能エネルギープロジェクト

ドラム缶炭焼窯開けを行いました。

■1月11日（日） 再生可能エネルギープロジェクト

ドラム缶炭焼窯作製を行いました。

■1月28日（水） 再生可能エネルギープロジェクト

ドラム缶炭焼について打合せを行いました。

■2月15日（日） 再生可能エネルギープロジェクト

ドラム缶炭焼窯焚きを実施しました。

■2月25日（水） 再生可能エネルギープロジェクト

ドラム缶炭焼結果報告を行いました。

《生活環境部会》

■11月26日（水） 部会会議

事業報告及び事業計画について検討しました。

■12月7日（日） エコライフDAY埼玉2014（冬）のキャンペーン

会員の皆さんや小・中学生、教職員のご協力により、4,732名の参加があり、二酸化炭素削減量は36.04tでした。（2/17現在）

■2月4日（水） 部会会議

来年度の事業や予算について検討しました。



【ドラム缶炭焼の準備中】



【ドラム缶炭焼実施中】

《自然環境部会》

■1月1日（木・祝） 自然観察会「初日に祈る山歩き」の巻

天覧山山頂で初日を拝した後、新春の里山を散策しました。参加者は6名でした。

共催：NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会

■2月8日（日） 自然観察会「冬の里山バードウォッキング」の巻

駿河台大学名誉教授の内田康夫先生の案内で、含蓄のある説明を聞きながらの里山散策でしたが、途中から雨が本降りとなってきたため午前中で解散となりました。参加者は11名でした。

共催：NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会

《放射能関連プロジェクト》

■11月5日（水） 第8回放射能関連プロジェクト会議

当プロジェクトの今後の活動について検討を行いました。

■12月8日（月） 第9回放射能関連プロジェクト会議

当プロジェクトの今後の活動について検討を行いました。

■1月15日（木） 第10回放射能関連プロジェクト会議

当プロジェクトの今後の活動について検討を行いました。

《全体会》

■11月27日（木）

各部会から活動の報告や自然環境の課題などについて情報交換を行いました。

■1月22日（木）

各部会から活動の報告や自然環境の課題などについて情報交換を行いました。

放射能に関する豆知識

①飯能市では、市内に住所を有する方に、無料で空間放射線量測定器をお貸ししています。
貸出期間は2日間です。詳しくは市役所環境緑水課までお問い合わせください。

※受付時間、貸出・返却時間は平日（月曜日～金曜日）の午前8時30分から午後5時15分
までです。（祝休日、年末年始を除きます）

②飯能市では、市内に住所を有する方に、無料で食品等の放射性物質測定を行っています。
市内及び市外で、自家消費用として生産したもの、または、譲り受けたものについてお申
込みいただけます。測定結果について許可をいただいたものは、飯能市が発行している放射
線ニュースで公表しています。放射線ニュースは、市役所環境緑水課や各地区行政センター
で入手可能です。また、飯能市のホームページからもご覧いただけます。

編集後記：皆さまのご協力を得て、昨年2月に実施した『放射能に関するアンケート』では
市民の皆さまから数多くのご意見やご質問が寄せられました。この中には身近な生活の中での疑
問・質問などがあり、放射能関連プロジェクトでは、活動の一環として上記のような“放射能に
関する豆知識”を順次作成して、これらの疑問にお答えすることにしました。今後の活動に対し
て、引き続き皆さまのご支援やご協力をお願いいたします。

東日本大震災から丸4年を迎ますが、原発の汚染水や汚染土処理の目処がつかず、また依然として食品等の出荷規制も続いており、まだまだ気が抜けない日々が続きそうです。

（広報委員長 伊藤 知夫）

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境緑水課
TEL 042-973-2125（直通）／FAX 042-971-2393
メール kankyo@city.hanno.lg.jp